展墓記

杉山栄一

故橋本進吉先生のお墓は敦賀の来迎寺にあります。敦賀は先生の御出身地です。先生はよく会合の席などで私の郷里はウラジオの向いですなどと言われたことがあるのを思い出します。昭和二十年に先生がなくなられてからお墓まいりをする機会もなかったのですが、最近岐阜の山田巌君からお墓のある所をきいたので早速敦賀へ行ってお墓まいりをして来ました。敦賀という所は御承知のように、米原から北陸本線で北上し、日本海岸に出た所で、ここから北陸本線は右に曲って東北の方、金沢に向います。町は北は敦賀湾に臨み、あとは山に囲まれ、西へはわずかに小浜線が分岐して若狭へゆく道があります。町に気比神宮（町の人はケイさんと愛称のように呼ぶ）が北陸道総鎮守として鎮座ましまし、角鹿（ツヌガ）の昔から有名なところですが、戦前は大陸交通の要衝として船の往来がはげしく、東京からは一等寝台車が直通していた程でしたが、戦争ですっかりやられ、町が全滅して後、戦後大陸との交陸が絶えたので、往年の盛んな港町はすっかり淋しくなってしまいました。人口も今は三万位でむしろ減る方です。来迎寺は駅から西北へ自動車で十分たらず、町を外れた田んぼの中にあるので幸い戦災にも会わず、昔のまま残っており、立派な本堂が建っています。墓地はこの本堂の裏手へまわるとあります。その右寄りの方に先生のお墓があります。表には「橋本進吉之墓」と彫ってあり、横に「橋本研一建之」とあります。写真はそ

の正面です。墓地は老樹が茂り、由緒ある古い寺の境内は、碩学の奥津城に最もふさわしい環境になっています。町の煙突の煤煙もここまではただよって来ず、騒音も聞えません。謹んで先生の御冥福をお祈りして寺を辞しました。

〔附記〕

国語学会初代会長橋本進吉博士のお墓参りをと思っていても、つい機会がない。近く、杉山栄一氏が参られたと聞いたので、その写真をお借りし、あわせて墓参りの記を書いていただいた。いっしょに博士の学徳をしのび、冥福をお祈りしたい。なお、杉山氏は、現在名古屋鉄道局副支配人であるが、元来昭和十年東大の国文学科の出身で、「国語法品詞論」などの著書もある。

（編集部）